

都道府県別

2025年大学入学者予測

前号「地域で選ばれる大学」特集において、今後大学入学者数の減少が避けられない状況の中で各地域におけるマーケット戦略を考える一つの材料として、「都道府県別 2025年 大学入学者予測」を提示させて頂いた。こちらは学校基本調査をベースに、自都道府県の残留率・他都道府県からの流入率と2025年までの18歳人口指数(推定)を掛け合わせて算出したものだ。

この記事に対して、多くの学校や地方自治体から反響を頂いたが、その中で学校基本調査上「その他」となっている学生数に関する質問があった。

「その他」とは、留学生や高専卒業者、大検合格者等にあたる。大分など「その他」の比率が高いいくつかの県においては、2025年の予測値にも影響が見られたため、今回は「その他」抜いた考え方で2025年予測についても実施し、前回との違いとともに再レポートさせて頂く。(本誌 林 知里)

1 2025年 大学入学者減少率の算出方法

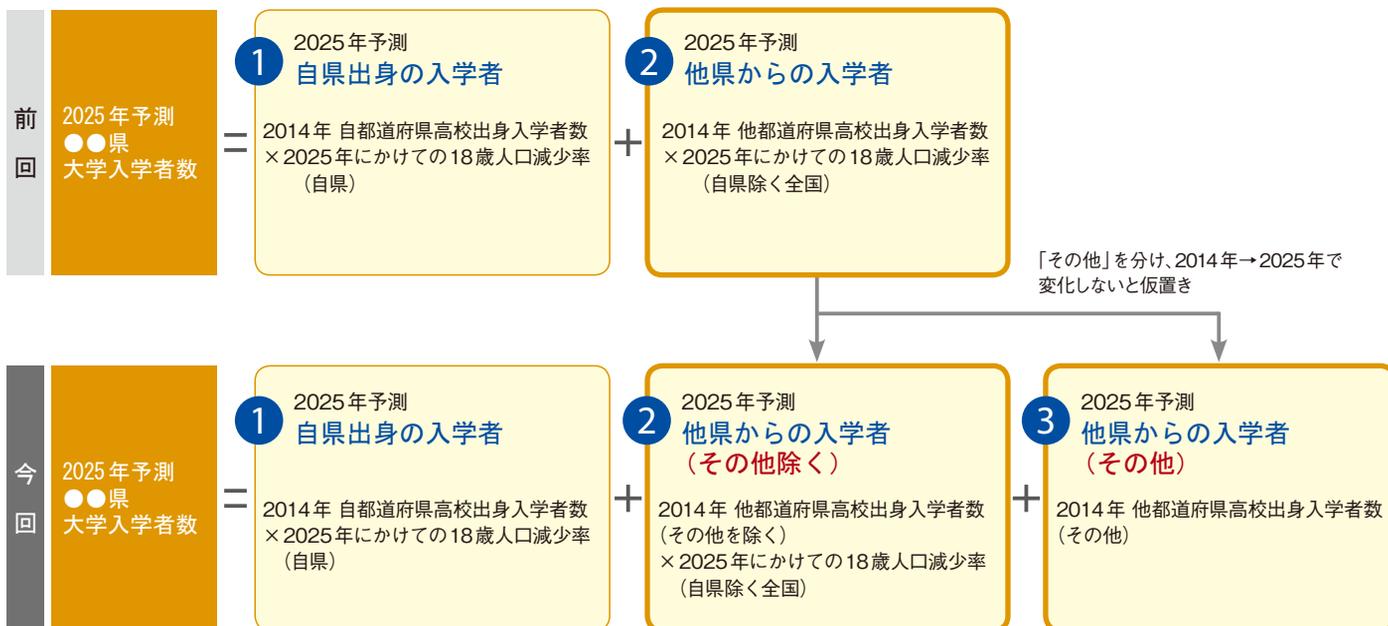
前回のレポートでは、大学入学者を①自県出身の入学者と②他県からの入学者の2つに分け、それぞれに18歳人口の減少率を掛け合わせたものを足して、2025年の大学入学者数を算出した【図表1】。

その際、②の他県からの入学者には、文部科学省の学校基本調査上「その他」とされている「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者」「専修学校高等課程の修了者」及び「高等学校卒業程度認定試験規則(平成17

年文部科学省令第1号)により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者」等が含まれる。そのうち、外国からの留学生については必ずしも日本国内の18歳人口減少の影響は受けないが、学校基本調査では「その他」の内訳が公表されておらず、留学生のみを別扱いにすることができないため、全体の中で扱った。

今回の再分析では、「その他」を別扱いとし(③)、2014年→2025年で変化しないと仮定して算出している。

図表1 予測数値の算出方法



※データはすべて、「平成26年度 学校基本調査」より

2 県別の大学入学者減少率とその内訳

図表2 都道府県別 大学入学者減少率 (2014年から2025年にかけての大学入学者減少率)

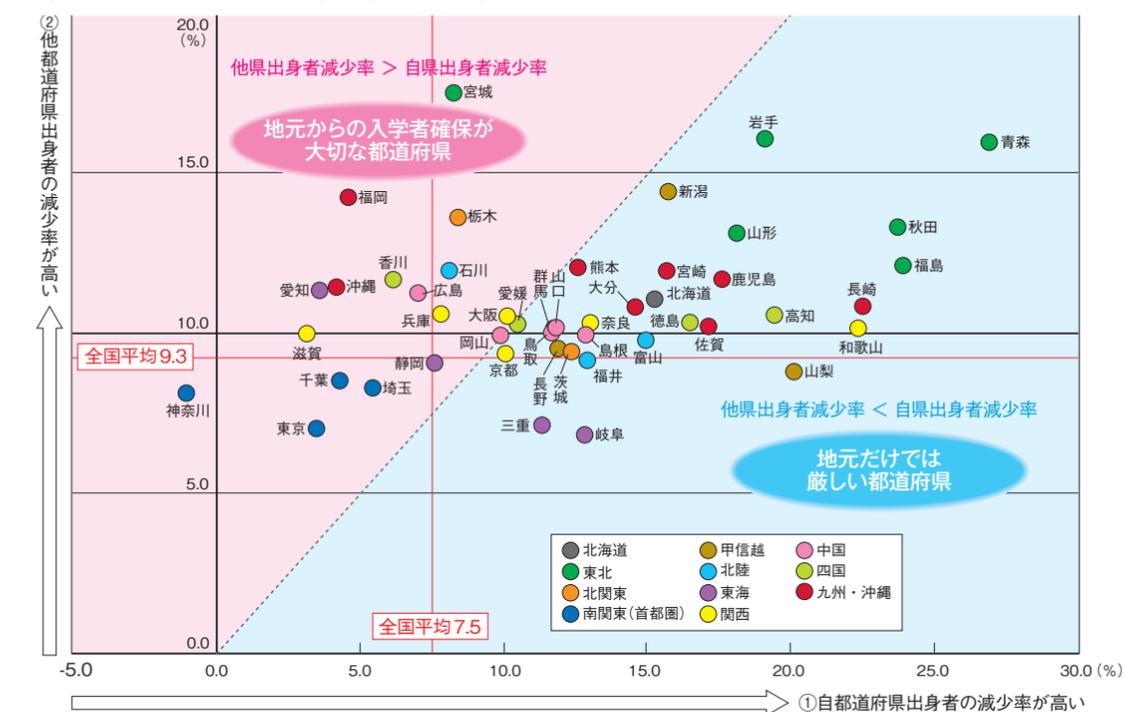
<表の見かた> ・数値は全て%
 ・大学進学者に占める「その他」の比率の高い上位5県にアミガケーA
 ・大学入学者減少率は、大きい都道府県トップ10を赤字、少ないトップ10を青字としたB、C
 ・自都道府県と他都道府県で減少率が高いほうにアミガケ(岡山県は同率)
 ・前回との差分が大きい上位5県にアミガケーD(C-B)

都道府県名	A		B		
	大学進学者に占める「その他」の比率	大学入学者減少率	自都道府県高校出身者減少率	他都道府県高校出身者減少率	
全国	2.4	8.5	7.5	9.3	
北海道	1.0	14.2	15.2	11.1	
東北	青森	1.1	22.1	26.9	16.0
	岩手	0.5	17.6	19.1	16.1
	宮城	0.8	12.8	8.3	17.5
	秋田	1.8	17.8	23.7	13.3
	山形	0.9	14.7	18.1	13.1
関東・甲信越	福島	1.7	17.7	23.9	12.1
	茨城	2.4	10.7	12.3	9.5
	栃木	1.7	11.3	8.4	13.6
	群馬	3.3	10.8	11.8	10.1
	埼玉	2.5	7.4	5.5	8.3
	千葉	2.7	7.0	4.3	8.5
	東京	3.0	5.8	3.5	7.0
	神奈川	2.3	4.8	-1.1	8.1
	新潟	1.2	15.2	15.7	14.4
	山梨	2.2	12.6	20.1	8.8
東海・北陸	長野	2.0	10.6	11.9	9.5
	富山	1.9	11.7	15.0	9.8
	石川	0.9	10.5	8.1	11.9
	福井	2.5	11.0	12.9	9.1
	岐阜	2.5	9.3	12.8	6.9
	静岡	1.5	8.1	7.6	9.1
関西	愛知	1.6	6.3	3.6	11.3
	三重	3.6	9.4	11.3	7.1
	滋賀	2.4	8.7	3.1	10.0
	京都	2.2	9.5	10.1	9.4
	大阪	2.2	10.3	10.2	10.5
	兵庫	3.1	9.2	7.8	10.6
中国・四国	奈良	2.3	10.9	13.0	10.3
	和歌山	0.8	13.8	22.3	10.1
	鳥取	0.9	10.3	11.6	10.0
	島根	1.2	10.8	12.9	10.0
	岡山	2.4	9.9	9.9	9.9
	広島	1.3	8.7	7.0	11.2
	山口	5.0	10.7	11.8	10.1
	徳島	0.9	13.1	16.5	10.3
九州・沖縄	香川	0.9	9.7	6.1	11.7
	愛媛	1.4	10.4	10.4	10.3
	高知	0.8	12.9	19.4	10.5
	福岡	3.5	8.6	4.6	14.2
	佐賀	1.0	12.2	17.1	10.2
	長崎	2.8	16.8	22.5	10.8
	熊本	1.0	12.3	12.5	12.0
	大分	12.0	12.2	14.6	10.8
九州・沖縄	宮崎	1.1	13.7	15.6	11.9
	鹿児島	3.7	15.1	17.6	11.7
	沖縄	1.2	5.7	4.1	11.5

(参考) C D(C-B)

都道府県名	C	D
大学入学者減少率(前回)	前回差	
全国	10.7	2.2
北海道	15.0	0.8
東北	23.0	0.9
関東・甲信越	18.0	0.4
東海・北陸	13.5	0.7
関西	19.3	1.5
中国・四国	15.5	0.8
九州・沖縄	19.1	1.4
青森	12.8	2.1
岩手	12.8	1.5
宮城	13.8	3.0
秋田	9.7	2.3
山形	9.5	2.5
福島	8.6	2.8
茨城	7.0	2.2
栃木	7.0	2.2
群馬	16.2	1.0
埼玉	14.5	1.9
千葉	12.4	1.8
東京	13.3	1.6
神奈川	11.3	0.8
新潟	11.3	0.8
山梨	13.2	2.2
長野	11.5	2.2
富山	9.6	1.5
石川	7.8	1.5
福井	12.7	3.3
岐阜	10.9	2.2
愛知	11.5	2.0
三重	12.2	1.9
滋賀	12.0	2.8
京都	13.0	2.1
大阪	14.5	0.7
兵庫	11.0	0.7
奈良	11.9	1.1
和歌山	12.1	2.2
鳥取	9.9	1.2
島根	15.2	4.5
岡山	13.8	0.8
広島	10.4	0.7
山口	11.7	1.3
徳島	13.7	0.8
香川	11.8	3.2
愛媛	13.1	0.9
高知	13.2	0.9
福岡	22.8	10.6
佐賀	14.6	0.9
長崎	18.2	3.1
熊本	6.8	1.1
大分		
宮崎		
鹿児島		
沖縄		

図表3 都道府県別 大学入学者減少率 (自都道府県高校出身者と他都道府県高校出身者の割合)



「その他」比率が高いのは、大分、山口、鹿児島、三重、福岡

【図表2】のAを見ていただければ分かるように、大学進学者に占める「その他」の比率は、全体では2.4%と必ずしも大きくない。県別に見ると大分の12.0%が突出しているが、これは、県内に留学生を多く抱える立命館アジア太平洋大学等が存在することの影響が大きいと想定される。それ以外に「その他」比率が高いのは、山口の5.0%、鹿児島・三重・福岡が3%台の後半となっている。この「その他」の影響を抜いて2025年の大学入学者減少率を算出したのがB列となるが、ここでも、前回試算との差分(D)が大きいのは前述の5県で、最も影響が大きかった大分県の大学入学者減少率は、22.8%から12.2%と10ポイント近く低くなっている。それ以外の県に関しては3-5ポイントの差分となった。

減少要因により、打ち手の優先順位は異なる

もう一つの【図表3】を見てみよう。この表は、自県出身者の減少率を横軸に(1)、他県出身者の減少率を縦軸に(2)とり、どちらの要因が大きいのかを見たものだ。2軸の数値が同じになる部分で領域を2分割すると、右下の領域が、自県出身者減少率が他県出身者の減少率を上回る都道府県であり(30県)、左上の領域はその逆となる(16県)。前回、「その他」を含む状態で②他県出身者の減少率が高く出ている前述の5県に関しては軒並み縦軸の位置が下に移動し、特に大分県は他県からの流入よりも、自県出身者の減少の影響が大きい右下のエリアに移動している。ただし全体的な傾向としては、前回レポートから大きな変化は見られない。自県出身者の減少率が他県からのそれを上回る右下の領域(ブルー)に

は、大都市圏は1つも含まれておらず、比較的人口規模の小さい県が多い。18歳人口の減少率が高く自県のマーケットそのものが縮小しているため、近隣を含む他県からの入学者をどのように確保していくかという戦略が必要となるエリアだ。一方、左上の領域(ピンク)には大都市圏が含まれているのが特徴で、数値的にも自県よりも他県からの入学者の減少が大きい。右下の領域とは異なり、全体的に18歳人口の減少率は低い。この領域に関しては、自県のマーケットもまだ残存するため、まずは地元からの入学者を確保したうえで他県からの流入も獲得していくという優先順位となるだろう。このように、一言で大学入学者数の確保といえども、各都道府県ごとに課題と対策は異なる。改めてデータをご参照のうえ、ぜひマーケット戦略に活用頂きたい。